

# DanRyu VOL.2

2022

2022年度テーマ

## CHALLENGE!!

OKAYAMA

高い目標もポジティブに  
夢を語り合うことで、  
叶えることができる

DXとは

DXセミナーレポート

DX企業事例紹介

2022年度 活動報告

2022年度 実施予定事業



Special Talk

高い目標もポジティブに  
夢を語り合うことで、  
叶えることができる

## 木下英樹

木下サーカス株式会社



## 石井聖至

公益社団法人 岡山青年会議所 第72代理事長

# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所

Since 1951



## CONTENTS

## Special Talk

01 高い目標もポジティブに夢を語り合うことで、叶えることができる  
木下英樹さんと石井聖至理事長の意見交換

## DXとは

## DXセミナーレポート

04 06 「これからの企業成長に欠かせない「DX」について学ぶ」  
2022年5月18日/社の街グレースオフィススクエア

## DX企業事例紹介

- 07
1. 「DXで24時間無人営業の音楽スタジオ」  
株式会社服部音楽器 24SOUNDBOX
  2. 「寝返り検知システムを活用した保育の効率化」  
大真グループ つくし保育園 万倍園

## 2022年度 活動報告

- 08
1. 親子で行く!瀬戸内クルーズ
  2. キッズスポーツパーク2022

## 2022年度 実施予定事業

- 09
1. シゴトカレッジ2022 「ビジネス特別講義Ⅱ」
  2. 未来へと繋がるこども塾～まちづくり編～
  3. わくわくファーム2022

# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所

Since 1951

## 2022年【暖流】発行にあたって

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。

青年会議所「JC」は20歳から40歳までの青年経済人たちが、地域経済の活性化や地域の課題解決に取り組み「ひとづくり」や「まちづくり」を行っている団体です。

JCは全国でおよそ690あります。その中でも、岡山青年会議所は、全国でも9番目に早い1951年に設立され今年で72年目を迎えます。

2022年も6月を迎え、以前新型コロナウイルスの影響も受けながらも「ニューノーマル」な生活へと変化の直中であると感じています。青年会議所運動も従来の型に当てはまらない新しい事業が次々と展開されています。対外事業として「親子でいく!瀬戸内クルーズ」「キッズスポーツパーク」などが開催され、いずれも大盛況となりました。

また、時代は「DX」へと舵を切っています。「ニューノーマル」な生活の中に「DX」のエッセンスを取り入れることがトレンドであり、そのために変化を恐れない人材が求められる現代です。

青年として若者らしい発想で、心豊かに胸躍る理想のまち「おかやま」の創造に挑戦しようという想いを込めた今年のスローガン「CHALLENGE」を掲げ、変化を恐れず挑戦して参ります。今後とも2022年度の岡山青年会議所、そして我々の活動に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 第72代理事長

石井聖至

# CHALLENGE!!

## OKAYAMA



Special Talk

高い目標もポジティブに夢を語り合うことで、叶えることができる

## 石井聖至 × 木下英樹

公益社団法人 岡山青年会議所 第72代理事長

木下サーカス株式会社





# 特別 対談

木下サーカス株式会社 木下英樹氏に  
4年ぶりとなる岡山公演や、商店街をはじめとした  
地域とのかかわりなど、様々なお話をうかがいました。

**石井聖至(以下、石井)** 今日ではよろしくお願  
いします。木下サーカスさんは120周年を  
迎えていらっしゃいますが、改めて大きな歴  
史を感じますね。

**木下英樹(以下、木下)** そうですね。明治35年  
(1902年)に私の曾祖父が大連で旗揚げを  
していますが、さらにさかのぼると、「旭座」と  
いう芝居小屋から始まります。

その後、日露戦争を機に今の本社がある千日  
前に戻ってきて、金馬館や若玉館などの映画館  
や、食堂・銭湯をつくっていらっしゃいます。その当時は京  
橋周辺が岡山の物流拠点だったこともあって、  
千日前商店街はにぎわっていたようですね。

**石井** 私の会社も創業が明治44年。もとも  
とは事務用品・文房具から始まった会社な  
のですが、その時代から売れるものやビジネスの形  
を変えながら、今も続けさせていただいで  
います。しかし、木下サーカスさんは創業当  
時から一貫して、人を楽しませるような事業を  
されていたんですね。

**木下** 食堂や銭湯なども、大衆とともに生  
きるというイメージで、地域の皆さんに喜ば  
れるようなものを提供していたのでしょ  
うね。

**石井** そして世界的なサーカスになるまで  
歴史を積み重ねられてきたということな  
のですが、英樹さんが入社されたからの活動につ  
いても教えていただければと思います。

**木下** 私は小さいころから舞台上に立ちたく  
て、大学を卒業後、1年間カナダに留学した  
後に、入社して2年後の25歳で木下サーカ  
スの舞台に立ちました。そこから約15年、空  
中ブランコで飛んでいましたね。その当時は、  
今とは違って体験者がほとんど入ってこ  
ないような時代だったので、回転技なんかも  
ビデオで見ながら練習していました。

過去にはブランコで骨折した時もあった  
のですが、ちょうどその時、代役がいなくて  
痛み止めを飲みながら舞台上に立っていた  
こともありましたね。

ある商店街を取り戻したいと思っています。

**石井** 岡山芸術創造劇場は「集う」という  
テーマを掲げていましたし、商店街に人が  
集まって盛り上がる、良いきっかけにな  
るといいですね。

また今年には4年に一度の岡山公演とな  
りますが、木下さん自身、郷土での公演は  
特別な想いをお持ちですか。

**木下** やはり、地元という想いと、皆  
さんが温かく迎えてくださっているという  
ことを肌で感じますよ。ね。

県外でも、もちろん多くのファンが  
いらっしゃいます。しかし岡山には「4年  
ぶりに帰ってきてくれた」という親しみ  
を感じますし、団員たちも、やっとな  
岡山で公演できるという気持ちが高  
まっています。

**石井** 本日に私も岡山公演を楽しみに  
させていたのですが、それは、同年代  
である若い経営者に向けて、熱い  
言葉を頂戴できればと思います。

**木下** 夢や目標をもって、それを語り  
合うことですかね。  
例えば目標を掲げるにしても、少し  
難しい、高いと思う目標を掲げる。そう  
することで、目標は達成することができ  
ないかもしれないけれど、近づくと  
はできます。  
そしてポジティブな言葉で夢を語り  
合うこと。常に良い言葉を発すること  
で、どこかで手助けしてくれる人が  
現れてくれます。

**石井** 「夢」を持つことが大事という  
ことですね。我々はビジョンという  
言い方をしますが、未来から過去に  
逆算して目標を立てることが大事  
なのだ、よく言われています。  
また先ほどおっしゃられたように、  
仲間と夢を語り合うことで、より  
ビジョンが鮮明になりますし、非  
常に大切な言葉だと感じました。  
本日はありがとうございます。

**木下英樹**  
Hideki  
Kinoshita

1979年(昭和54年)岡山市生まれ。岡山学芸館高等学校卒業、芦屋大学教育学部卒業後、カナダバンクーバーに留学中。極真空手を習う。帰国後、木下サーカス株式会社に入社(23才)オープニングショー、空中ブランコなどで舞台に出演後、現在は取締役、芸術推進本部芸術販売推進副部長として岡山本社、岡山公演準備事務局にて勤務。趣味、ゴルフ。

**石井聖至**  
Kiyonari  
Ishii

昭和57年5月に、岡山市に生まれる。平成17年、大阪学院大学経済学部を卒業後、株式会社オカムラに入社。平成22年に株式会社石井事務機センター入社後、令和3年に専務取締役役に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成25年に入会し、令和元年に組織未来室常任理事、令和2年にまちづくり室副理事長、令和3年に未来創造室副理事長を歴任。

**石井** そして現在は経営に携わっていら  
っしゃいます。

**木下** そうです。39歳の時に岡山に戻って  
きて、本社の仕事をさせてもらっています。現  
在は4年ぶりとなる岡山公演の先発事務所と  
して、関係者の方々と一緒に挨拶や営業をさ  
せてもらって公演の周知をしているところ  
ですね。

をかけたとしても、内容が良くないとお客様も満足されません。二場所「二根三ネタ」の三つが揃うことで、一度来たお客様がリピターとして何度も来られたり、お友達を連れてきてくれたり……。最終的にはテントに入りにくいような大入りの公演になっていくのです。

また社会福祉事業の協賛で施設にいる子どもさんや、高齢者の方をご招待するのですが、サーカスをライブで見ると本当に楽しんでくれるんです。

始まるまでは表情が暗かった子どもたちも、無邪気に楽しんできてくれたり、サーカスから帰る楽しそうな後姿を見ると、おうちに帰ってからもサーカスの話をするんだらう……。自分で言うのも何ですが、人に夢を与えられる素晴らしい仕事をさせていた

**石井** 本日にありがとうございます。我々岡山青年会議所も子ど

**石井** そうした経営の面を継承するだけではなく、サーカスの現場をしっかりと行つたうえで、経営にも携わっていらっしゃるんですね。

**木下** 四代目の社長も昔、空中ブランコで公演に出ていたなど、現場を大切にしている。二場所「二根三ネタ」の三要素を徹底しています。「一場所」というのは公演の場所、「二根」は営業推進やプロモーションに必要な根拠。そして三ネタは舞台やパフォーマンスですね。

いくら場所がよくて営業をかけたとしても、内容が良くないとお客様も満足されません。二場所「二根三ネタ」の三つが揃うことで、一度来たお客様がリピターとして何度も来られたり、お友達を連れてきてくれたり……。最終的にはテントに入りにくいような大入りの公演になっていくのです。

また社会福祉事業の協賛で施設にいる子どもさんや、高齢者の方をご招待するのですが、サーカスをライブで見ると本当に楽しんでくれるんです。始まるまでは表情が暗かった子どもたちも、無邪気に楽しんできてくれたり、サーカスから帰る楽しそうな後姿を見ると、おうちに帰ってからもサーカスの話をするんだらう……。自分で言うのも何ですが、人に夢を与えられる素晴らしい仕事をさせていた

**石井** 本日にありがとうございます。我々岡山青年会議所も子ど

もたちに夢や希望を持ってもらおうような青少年育成事業を数多く行っています。子どもたちに岡山の良さや、夢や希望を持ってもらいたいということが我々の活動の中心にあるのですが、御社はビジネスでそれを体現していらっしゃいますので、そういう企業が岡山にあるというのが非常に誇らしいなと感じます。

そして木下サーカスさんは世界でも活躍されているのですが、岡山青年会議所のメンバーのなかには同じように世界で活躍することを目指す方もいると思います。そのようなメンバーに何かアドバイスを頂けませんか。

**木下** サークスには現在、海外のアーティストが十数名います。最初は一年・二年の契約で来られて、日本が良いからといって延長される方もいらっしゃいます。日本に住みやすい・木下サーカスのファミリー的なスタイルが良いということもあるかもしれません。しかし普段の挨拶であったりとか、礼儀正しいところを海外の方が素晴らしいと感じられていると思います。そういう部分は海外でも通用していくと思うので、素直な心であったり、謙虚な気持ちであったり、人をほめるということであったり……。そういったところが大事なのかなと思います。

**石井** やはり人と人のつながりが大切ですね。また木下サーカスさんは、地元もつなげて、地域活動もされていますよ。表町商店街や千日前など、街とのかかわり方について教えていただければと思います。

**木下** そうですね。千日前商店街は弊社の発祥の地でもありますし、岡山芸術創造劇場も来年の9月にオープン控えているなど注目が集まっています。商店街の方々と連携をしていくことで、子どもたちが千日前・表町商店街の周辺で生まれてよかったと思えるような街にしていきたいですし、私が小さかった頃に体験した活気

※この対談はマスク着用(写真撮影時以外)、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保等、安全面に最大限配慮したうえで行いました。



## 「DX化」を進めるための導入ステップ

### STEP.1 ▶ アナログ業務のデジタル化

DXを実現するための最初のステップが業務のデジタル化です。電子契約、電子押印ツールの活用、自社サーバーをクラウドストレージなどに変更、オンライン商談ツールの導入など、アナログ業務や非効率な業務をデジタルに置きかえていくステップ。



### STEP.2 ▶ さらなる生産効率・業務効率の向上

デジタル化が実現できたら、他の業務にも活用して、さらなる効率化につなげます。これまでブラックボックス化していた部分や、成功事例のデータを複雑化・考朽化することで非効率になっていた業務などが発見され、改善されることもあります。



### STEP.3 ▶ 蓄積されたデータを使用して組織を変革

デジタル化することで得たデータを活用し、企業・組織のさらなる効率化・新たなビジネスモデルへのヒントにつなげる仕組みを構築します。



### STEP.4 ▶ 新たなビジネス・価値の創出

従来のサービスや市場・顧客を大きく展開して、新しいビジネスモデルやサービスへの変革を起こすステップ。企業・組織の競争力を上げ収益拡大につなげるだけでなく、社員の業務や生活をより豊かに変えていくこともできるでしょう。



「DX」を進める前に、何のためにデジタル化（IT化）するのかという「目的」を決めることが大切。IT・デジタル化はあくまで「手段」です。デジタル化が目的になってしまうと、デジタル投資が無駄になりかねません。

戦略・ビジョンを実現するために、ビジネスモデル・業務フローをどう変えていけば良いのか、そのためにどんなデジタル化、ITツールが必要になるのかを考えるのがポイントです。

## DX・デジタル化に詳しい専門家に相談することも大切

企業・組織のDX化を行うためには、社内に専門の担当課を設けることが最適とされていますが、人員の確保や通常業務などで、なかなか難しい部分も多いと思います。そんな時は、専門家のアドバイスを受けてみることも大切。またデジタル環境の構築は大きな負担にもなります。このような時に、補助金の活用を検討するのも一つの方法です。

## 組織・企業に変革を起こす「デジタル・トランスフォーメーション」

# DXとは何か？

## DX（デジタル・トランスフォーメーション）の定義とは？

DXの歴史は古く、2004年にスウェーデンの教授が提唱したとされています。その時に定義されたのは「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」こと。

そして2018年に経済産業省が策定した「DX推進ガイドライン」によると、DXとは「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」とされています。

### 業務のデジタル化

- ITツール・デジタル技術の導入
- IT環境の見直しと再構築化



### 業務プロセスのデジタル化

- 業務効率の改善・働き方改革
- データを蓄積してノウハウを共有する



### DX（デジタル・トランスフォーメーション）

- 顧客に新たな価値を提供できるよう変革
- 新たなビジネスモデルへの変換・修正

## IT化とは違う!? 「変革（トランスフォーメーション）」がポイント

IT化とDX化に明確な線引きはありませんが、DXの大切な要素としてデジタル化によって、企業に変革（トランスフォーメーション）を起こすことが挙げられます。

ITツールの導入による業務効率化にとどまらず、リモートワーク・業務フローの改善などの働き方改革や、生産性向上による競争上の優位性が生まれるなど、企業の戦略やビジョンにデジタル技術を導入し、どうやって変革を起こしていくのかがDXのポイントになります。

## IT化とDX化の違いについて

### IT化（業務の効率化）

#### 社内への影響

- ・業務の効率化
- ・業務の見える化、セキュリティ向上
- ・リアルタイムな情報の伝達・共有

#### 社外への影響

- ・顧客とのコミュニケーション強化
- ・品質・納期などの改善

### DX化（組織やビジネスの変革）

#### 社内への影響

- ・業務自動化・不要化
- ・業務効率化による働き方改革
- ・承認・意思決定省略による組織改革

#### 社外への影響

- ・新たなビジネスモデルへの転換
- ・新規顧客の創出
- ・新規事業分野への進出など



# DX事例紹介



## DXで24時間無人営業の音楽スタジオ

岡山青年会議所メンバーの服部悟さんが提案する音楽スタジオです。DXにより24時間完全無人のレンタルスタジオ・レンタルルームが稼働中です。利用者はスマホ一台で空き室確認・部屋の予約・決済・鍵の開け閉めが可能です。運営としては部屋の清掃作業をするだけ。後はシステムが自動に運営をしてくれています。システム料は月額およそ3万円。その他かかる費用は家賃と光熱費と清掃にかかる人件費だけです。DXにより企業にとってもお客様にとっても便利なスタジオができました!



株式会社服部管楽器  
24SOUND BOX  
岡山県岡山市北区表町3-5-32

## 寝返り検知システムを活用した保育の効率化

岡山青年会議所メンバーの大塚真弘さんが経営する保育園です。保護者の安心や保育士の負担軽減のためにDXを事業に取り組んでいます。

お昼寝の時間には、園児の衣服にセンサーを取り付けてうつ伏せを検出すると保育士に警報があがるようなシステムを導入しています。これによって、うつ伏せになった園児の見落としのリスクを軽減するとともに、保育士にかかる精神的なプレッシャーの緩和にも役立っています。

また、保護者と保育士の間で連絡帳をアプリで行っています。保育園での日々の様子や成長の過程をアプリ上から確認でき、また家庭や保育園での食事内容を共有することで、お互いのコミュニケーションが効率よく取りやすくなっています。



大真グループ  
つくし保育園 万倍園  
岡山県岡山市南区万倍42-4



# DXセミナーレポート



## これからの企業成長に欠かせない「DX」について学ぶ

2022年5月18日 / 社の街グレースオフィススクエア



5月18日(水)社の街グレース オフィスクエア会議室にて「DXセミナー これからの企業成長に欠かせない「DX」について学べる機会!」が開催されました。

DX=デジタルトランスフォーメーション、進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のことです。

現代では圧倒的な速度で情報が流れていきます。商売において今までと同じことをしていても成り立たない時代に入りました。そこでDXを取り入れることで自社の利益を確保するなど、役立てるセミナーです。当日は100人を超える熱意溢れる受講者にお越しいただき、大変に盛況な会となりました。

第一部では岡山市よりDXの説明と岡山市の取り組み、岡山市の補助金制度をご説明いただきました。岡山市としても独自の補助金を制定するなどDXを推進しています。

第二部では株式会社ハル技術研究所様より補助金を活用した事業をご紹介いただきました。補助金でできることをご説明いただき、DX活用のための課題や解決法をお伝えいただき、また企業としてのDXの再定義と戦略との融合をご紹介いただきました。

第三部では株式会社WORK SMILE LABOの石井聖博代表取締役様に講師をお勤めいただきました。働き方を変えることが重要であり、それができたときに自社が成長できる=自社の生産性向上が果たせるとお伝えいただきました。働く環境や評価制度を整え、その上でDX化を行うことで働き方を良い方向へ変えていくことが大事であり、そのための一歩としてデジタル化を取り組もうとお伝えいただきました。

DXにもステップがあり「できることから始めていくこと」が重要であるとご説明されました。本セミナーを通してDXのメリット・課題を知り、自社の利益とされることをご祈念しております。ご来場いただきました講師の皆様、受講いただいた皆様大変ありがとうございました。



# Business Announcement

2022年度実施事業紹介

# 2022 ACTIVITY REPORT

2022年度活動報告

## シゴトカレッジ2022「ビジネス特別講義II」

# 01



今年も開催

- 開催日程**
- 1日目: 2022年6月 4日(土) 10:45~18:00
  - 2日目: 2022年6月11日(土) 13:00~18:00
  - 3日目: 2022年6月25日(土) 9:00~12:15
  - 4日目: 2022年7月 9日(土) 13:00~18:00
  - 5日目: 2022年7月23日(土) 13:00~18:00

### 事業概要

「企業価値や生の経営理念にふれることで、自らのキャリアプランを考え、能動的に行動できる人材への成長」をテーマとして、5日間にわたり、IPU・環太平洋大学と連携して岡山県内の大学に通う大学生を対象に、おかやまに根ざす企業の成り立ちや理念を共有し、企業の仕組みの基礎や地元企業の企業価値を学ぶ事業を実施します。

1日目ではビジネス力測定ゲームを通じて会社の仕組みや自らの特性を学び、2日目・4日目は各会員企業にて企業価値や企業理念を分析し、新たな企業価値を検討します。3日目はプレゼン方法について学び、5日目では「プレゼン大会」を開催し、本講義を通じて分析した会員企業の企業価値や企業理念、新たな企業価値等について、企業やJCメンバーの前で発表していただきます。

**シゴトカレッジ2022「ビジネス特別講義II」**

企業価値や生の経営理念にふれることで、自らのキャリアプランを考え、能動的に行動できる人材への成長をテーマとして、5日間にわたり、IPU・環太平洋大学と連携して岡山県内の大学に通う大学生を対象に、おかやまに根ざす企業の成り立ちや理念を共有し、企業の仕組みの基礎や地元企業の企業価値を学ぶ事業を実施します。

募集期間 2022年3月4日～ 参加定員 70名(先着順)  
大学コンソーシアム提供科目！単位取得可能！

**講義日程 全5日** 全日程の参加費は無料です。

**注意事項**

- 1日目: 6月4日(土) 10:45~18:00 IPU 環太平洋大学 岡山キャンパス
- 2日目: 6月11日(土) 13:00~18:00 岡山県立大学 岡山キャンパス
- 3日目: 6月25日(土) 9:00~12:15 IPU 環太平洋大学 岡山キャンパス
- 4日目: 7月9日(土) 13:00~18:00 岡山県立大学 岡山キャンパス
- 5日目: 7月23日(土) 13:00~18:00 IPU 環太平洋大学 岡山キャンパス

公益社団法人岡山青年会議所  
岡山県立大学 岡山キャンパス 岡山県立大学 岡山キャンパス  
E-mail: shigotokollege2022@gmail.com

## 親子で行く!瀬戸内クルーズ

# 01



令和4年5月4日(水・祝)岡山青年会議所による「親子で行く!瀬戸内クルーズ」事業が行われました。

新岡山港を出港したクルーズ船内では、瀬戸内の温暖な気候や、おだやかな景色を楽しむことができました。またクラシックの演奏なども行われてスペシャルな一日となりました。

当日は70世帯、180名の方に参加していただき、子どもの笑顔あふれる素晴らしい事業となりました。この事業がきっかけとなり、現在の日本の体験格差が少なくなればと思います。



## 未来へと繋がるこども塾~まちづくり編~

# 02

アート前島犬島で未来を描き未来を創ろう

**未来へと繋がるこども塾 ~まちづくり編~**

開催日時 2022年7月3日(日)  
悪天候の場合(2022.7.10日)に延期  
開催場所 犬島(岡山市東区)

午前9時~午後4時

岡山駅前バス乗り場  
参加対象 小学生5・6年生 先着60名(午前30名・午後30名)  
参加料金 1500円(現地でお支払い)  
申込期限 2022年6月25日(土)

公益社団法人岡山青年会議所  
岡山県立大学 岡山キャンパス 岡山県立大学 岡山キャンパス  
E-mail: shigotokollege2022@gmail.com

- 開催日程** 2022年7月3日(日)
- 開催場所** 犬島(岡山市東区)
- 参加対象** 小学生5・6年生 先着60名(午前30名・午後30名)
- 参加料金** 1500円※現地で現金にてお支払い
- 申込期限** 2022年6月25日(土)

保護者の同伴不可 個人的にお越しになられることは自由です。  
参加料金に交通費など必要な費用は全て含まれています。  
雨天決行/7月3日が台風などの悪天候の場合10日に開催。  
両日悪天候の際には開催中止といたします。

### 事業概要

#### 「アートの島 犬島で未来を描き未来を創ろう」

犬島を舞台にまちづくりを考える事業です。前半では犬島の歴史的な背景や現在の犬島で行われている取り組みなどを学びインプットをし、後半では学びをふまえて岡山の将来のまちづくりを考えてビジョンボードにアウトプットするプログラムです。

## キッズスポーツパーク2022

# 02



令和4年5月21日(土)岡山青年会議所とIPU・環太平洋大学様による「キッズスポーツパーク2022」の事業が行われました。当日は気候も良く絶好のスポーツ日和となりました。

様々なスポーツを体験することで子ども達の笑顔が溢れる素晴らしい事業となりました。また、スポーツ測定の結果をフィードバックすることで子ども達が自分の特性を知るきっかけを提供することができました。

本事業を通して子ども達のやりたいスポーツを決めるきっかけとなれば幸いです。ご来場いただいた皆様に喜んでいただけて、無事業を成功することができました。

\*2022年度実施事業の内容等は変更となる場合がございます。



## 岡山市内の小学生を対象とした農業体験事業 「わくわくファーム2022」



都市化や情報化による地域コミュニティの衰退に伴い、子どもが自然に触れたり、他者と関わる機会が減ってしまいました。その結果、親子の関係性や道徳観の形成に問題を抱える事例も少なくありません。

子どもを取り巻く環境が大きく変化していくなかで、わくわくファームを通して日本人が古来より培ってきた「自然に感謝する」気持ちを次世代を担う子どもたちに伝えたいという想い、そして親子が共に学ぶ機会をつくることで、家族の絆や基本的道徳観の醸成を目的としています。

### 開催予定

- 田植え:2022年6月 ●野菜収穫:2022年7月
- 稲刈り:2022年10月

※スケジュールや内容は変更する可能性があります。  
※参加者の応募は締め切っております。

**JCI** Junior Chamber International OKAYAMA



homepage address  
<https://www.okjc.org>



facebook  
<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は9月発行予定です。

発行日 令和4年6月  
発行 公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com  
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所  
総務・広報委員会  
委員長:大塚 真弘  
綾部 系一・久保 和裕・服部 悟  
川口 修司・岡田 有造・岸本 啓吾・杉岡 裕・坂本 雅樹